



【北海道札幌市 さっぽろ子育てアプリ】

新型コロナウイルス感染症に立ち向かうための緊急対策として

「さっぽろ子育てきずなメール」の原稿提供を開始

NPO 法人きずなメール・プロジェクト（東京都杉並区/以下、団体）は、2020年8月25日より、北海道札幌市の「さっぽろ子育てアプリ」より、新たに配信開始された「さっぽろ子育てきずなメール」原稿の提供を開始しました。

さっぽろ子育てきずなメール (妊娠期/子育て期/就学前応援)

今日で妊娠21週と0日です 2020/8/7

(きずなメールより)
<赤ちゃんの様子>
ママのおなかの中に赤ちゃんが宿って133日目(妊娠2週と0日を受精日として)。そして、出産予定日まで133日目。
妊娠生活の折り返し地点です。いまの赤ちゃんは、すでに見た目は新生児のこのお版のようです。

<今日のあなたへ>
免疫機能が低下している妊娠中は、食中毒や食あたりに気を付けましょう。そのためには、口にする食品に、原因となる病原菌がついていない状態にすることが大事です。食品を洗うこと、しっかり加熱することを習慣にしましょう。生乳、生野菜、生牡蠣...と加熱していない食べものが好きなママも、妊娠中の今シーズンは控えましょう。

また、シンク台やまな板、さいばしなどお料理用品の除菌も大事です。こうした食中毒予防は、ご家族にも一緒に心がけてもらいましょう。妊娠中のママへのいたわりとして、お料理の衛生管理を引き受けてもらえたらうれしいですね。

(札幌市より)
【入院助産制度】
経済的な理由で分娩費用の支払いが困難と認められる方のために、入院助産制度があります。
まずはご相談ください。

「さっぽろ子育てきずなメール」は、新型コロナウイルス感染症に立ち向かうことをきっかけとして、市の補正予算で実施。

市内で認知度の高い「さっぽろ子育てアプリ」より、妊娠期から就学前までの間、妊産婦さんやそのご家族・0歳から就学前のお子さんの保護者の方が、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、「複数名の医師や管理栄養士が監修した、おなかの赤ちゃんやお子さんの成長にあわせたアドバイス」と「市からの支援情報」をお届けします。

市と住民のオンラインでの繋がりを強化し、対面支援が難しい状況にも、非接触での切れ目のない支援を実施し、妊産婦さんや子育て世帯の孤立を防ぎます。

子育てアドバイス

妊娠期は妊娠4週0日～妊娠41週6日。
出産後は0歳～6歳誕生日。
就学応援は年長児の4月～翌年3月まで。

市からの支援情報

妊娠週数やお子さんの月齢に応じた、市の支援や相談窓口・医療・保育園等子育てに関する情報等

■「さっぽろ子育てきずなメール」配信による効果

- ・市民と札幌市が「さっぽろ子育てきずなメール」によってゆるやかに繋がりを続けることで、感染症の流行や震災・災害時にも、正確で信頼できる情報を素早く届けることができる。
- ・正確で信頼できる情報を提供することで、検索不安を解消し、妊娠・出産・子育てに関する不安もやわらげる。
- ・困りごとに適した札幌市の相談先情報を伝えることで、いざというとき市民が迷わず相談先と繋がることができる。
- ・札幌市の子育て情報を伝えることで、地域からの孤立を防ぐ。
- ・パートナーと一緒に読む事で、パートナーの育児参加を後押しする。
- ・祖父母と一緒に読む事で、子育て情報の世代間のギャップを解消する。

■さっぽろ子育てアプリ

iphone 版



Android 版



■団体が北海道札幌市に提供している原稿

- ・マタニティきずなメール（妊娠4週0日～妊娠41週6日）
- ・子育てきずなメール（0歳～3歳誕生日まで）
- ・札幌市オリジナル 3歳～5歳原稿 ・札幌市オリジナル 就学前応援原稿
- ・札幌市オリジナル 自治体情報原稿

■2020年度 きずなメール 活用自治体：30

<https://www.kizunamail.com/read/>

「孤育て」「産後うつ」「乳幼児虐待」といった子育てにまつわる社会課題があるいま、私たちは「伝える内容と伝え方」を工夫することで、子育て世帯の不安をやわらげ、親と子のきずなや夫婦間のきずな、地域とのつながりを強めて、これらの社会課題解消を目指しています。

【プレスリリース・取材に関するお問い合わせ先】

NPO 法人きずなメール・プロジェクト 担当：オノヘレ 電話 03-6317-5575 inquiry@kizuna-mail.jp
〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北5丁目1-5-301